

平成30年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	行政経営部
部(局)長名	稲田 勲
理事名	川本 義一 (総合計画担当)
理事名	中川 明仁 (公共施設最適化担当)
理事名	大山 達也 (中核市移行準備担当)

【基本姿勢】

本市の人口は、近年では転入超過に伴う社会増により増加傾向にありますが、長期的には少子高齢化に伴う自然減により減少に転じることになります。

こうした少子高齢化と人口減少は、市税収入の減少や、社会保障関係経費の増加をもたらすなど、財政面で影響を与えますが、将来の収支見通しのもと、今後の社会状況の変化に備えた対応が必要となります。

また、昭和30～50年代に整備を進めた公共施設が老朽化し、更新の時期を迎えますが、今後の人口動向を踏まえた、質と量の両面での施設の最適化が必要となります。

本市がこれから直面することになる新たな諸課題にも対応できるよう、効果的・効率的な予算配分、公共施設の最適化、ICT環境の整備など、行政活動の資源配分をPDCAサイクルの下で適切に行いながら、財政の健全性の維持と、将来への必要な投資の両立を図り、持続可能な市政運営に努めます。

【達成度について】

- A：達成 (設定した目標を達成することができた。)
 B：一部達成 (設定した目標の一部のみ達成することができた。)
 C：未達成 (目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。)

【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	PDCAサイクルの着実な推進	A
2	中核市移行に向けた準備	A
3	吹田市第4次総合計画の策定	A
4	公共施設最適化の推進	A
5	学校・園施設整備の推進	A
6	吹田市第4期情報化推進計画の策定	A

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 1	PDCAサイクルの着実な推進
--------	----------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	PDCAサイクル【計画(Plan)-実施(Do)-評価(Check)-改善(Action)】を着実に推進し、財政規律を確保しながら、市の魅力や特長がさらに厚みを増すように市政を推進します。
---------------------	--

活動目標
実施計画、予算、行政評価の 手続を連携させ、効果的・効率的な行政運営に努めます。
行政評価において、定量的な 指標の設定に努めます。
財政規律を具体化する客観的 な指標を設定します。

具体的な取組実績
行政評価をより効果的に活用するために、評価の視点を整理し、実施スケジュールの見直しを行った上で、職員に対して説明会を開催し、その内容を周知しました。実施計画策定と予算編成については、同時に方針を掲げて共通でヒアリングを行うとともに、査定において行政評価結果との整合性等を確認するなど、実施計画、予算、行政評価の一体的な実施に努めました。
事業を分類して、定量的な指標の設定(数値化)が可能なものを示し、積極的な数値化を働きかけました。
第4次総合計画の基本計画 財政運営の基本方針において、目標ごとに指標を設定しました。

達成目標
行政評価の有効性を高めながら、実施計画、予算の手続を通じて、事業の再構築を図り、新たな行政課題に的確に対応します。
財政規律の確保を図ります。

達成状況	達成度
次年度の実施計画や予算要求の協議が本格化する前に、行政評価の一次評価、二次評価の結果を踏まえた事業構築や査定を行い、選択と集中を図ることで、暮らしを支える施策を着実に進めながらも、重要な政策課題に必要な措置を講じることができました。	A 達成
持続可能な財政運営の指標となりうる項目を整理し、各項目の現状を分析するための目安となる数値目標を設定しました。	A 達成

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> 行政評価は、事業を振り返って評価し、次の事業実施に生かすためのものです。その目的を改めて確認し、調書の作成をとおした事業の分析をより効果的に行えるよう、事業の分類や、記入すべき事項の整理を行いました。説明会をとおして各室課と取組方針を共有したことで、全体的に、より掘り下げた一次評価ができました。 二次評価においては、対象事業を選定した視点を分かりやすく整理した上で評価を行い、また、評価後の指摘事項は、事業の現状を踏まえた上で、より具体的に示すよう工夫しました。 一次評価結果を8月中に、二次評価結果を9月中にまとめることができたことから、次年度に向けた実施計画策定や予算編成の作業では、行政評価結果を意識して査定に取り組み、結果を反映させながら、より効果的・効率的な事業構築を行うことができました。 この先10年間の財政運営の基本方針を明らかにし、具体的な指標も掲げることで、第4次総合計画に基づく取組の着実な実施に不可欠となる安定的な財政基盤の確保に向けた道筋をつけることができました。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 2	中核市移行に向けた準備
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	平成32年の中核市移行を目指し、準備手続を着実に進めます。
---------------------	-------------------------------

活動目標
中核市移行にあたっての基本的な考え方、移譲事務に関する内容、移行後の組織や人員の体制などについてまとめた「中核市移行基本計画」を策定します。
「中核市移行基本計画」の策定にあたっては、パブリックコメントを行うなど、市民の意見をお聞きするとともに、市民説明会や出前講座の実施、リーフレットの全戸配布などにより、市民への説明や周知に努めます。
国との事前調整用の資料の作成や条例・規則等の検討、職員の採用や研修派遣に向けた大阪府及び関係所管との協議、情報収集を進めます。

具体的な取組実績
中核市移行推進本部会議などの庁内での議論やパブリックコメントの手続を経て、7月末に「中核市移行基本計画」を策定しました。
5月15日から7月3日までの50日間でパブリックコメントを実施し、69通126件のご意見をいただきました。 併せて、中核市移行についての意見交換会(2回)、出前講座(11回)、まちづくり吹田学塾、市長のタウンミーティング後の説明(9回)の実施や、6月にはリーフレットの全戸配布を行うなど、市民への説明や周知に努めました。
保健所業務移管検討ワーキング会議(3回)や府市中核市移行会議等において、大阪府の協力のもと詳細な検討を進めました。 また、職員体制や組織のあり方等について考え方をまとめ、総務省ヒアリング資料を作成しました。 条例・規則等についても、所管での検討をスケジュールに沿って進めていただいています。

達成目標
中核市移行について、市民の理解を促進するとともに、国との事前調整や、条例・規則の検討など、中核市移行に向けた準備手続を着実に進めます。
平成31年2月の市議会定例会において、国に対して中核市の指定に係る申出を行うことについて提案できるよう取組を進めます。

達成状況	達成度
意見交換会や出前講座を通じて、積極的に市民理解を促進してきました。 総務省ヒアリングや条例・規則の検討など、準備手続については計画どおり進めることができました。	A 達成
平成31年2月の市議会定例会に「中核市の指定に係る申出について」の議案を提出し、可決されました。	A 達成

総合評価・総括
平成32年4月の中核市移行を目指し、平成30年7月末に基本計画を策定し、平成31年2月の市議会定例会で「中核市の指定に係る申出について」の議案が可決されました。今後は、府の同意を得た上で、国(総務大臣)に対し中核市の指定に係る申出を行います。 また、市民理解の促進については課題もあり、引き続き、ホームページや出前講座を活用して中核市移行の取組について丁寧な説明を行うとともに、市民向け講演会などを実施することで周知を図っていきます。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 3	吹田市第4次総合計画の策定
--------	---------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	吹田市第4次総合計画を策定し、本市がめざすべき将来像の実現に向けた取組を推進します。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績	
第4次総合計画の策定に向け、審議会等において市民意見を踏まえた検討を進めます。	基本構想・基本計画（素案）について、平成30年4月開催の第9回総合計画検討特別委員会での意見を踏まえ、5月開催の第10回総合計画審議会において、全体の検討が行われました。その後、6月に総合計画審議会から答申を受け、その内容について6月11日～7月10日にパブリックコメントを行い、その意見等を踏まえ、7月開催の第9回総合計画策定委員会において、素案の修正を行いました。	
第4次総合計画基本構想（案）及び基本計画（案）を策定し、平成30年8月の市議会定例会に提案します。	審議会、特別委員会、パブリックコメント等の意見を踏まえ、基本構想・基本計画（素案）を、7月開催の総合計画策定委員会においてとりまとめ、8月開催の政策会議にて、基本構想・基本計画（案）として策定し、平成30年9月の市議会定例会に提案しました。	
達成目標	達成状況	達成度
基本構想（案）及び基本計画（案）をとりまとめます。	平成30年8月開催の政策会議にて基本構想・基本計画（案）をとりまとめました。	A 達成
第4次総合計画を策定します。	平成30年9月の市議会定例会にて基本構想・基本計画（案）が可決され、第4次総合計画を策定しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>第4次総合計画の策定に向け、平成28年度から、審議会、特別委員会、策定委員会等における検討を重ねてきました。平成30年度は、審議会からの答申を受け、とりまとめた素案についてパブリックコメントを実施し、その市民意見を踏まえた基本構想・基本計画（案）について市議会に提案、可決され、第4次総合計画が策定されました。</p> <p>策定後は、見やすく分かりやすい冊子の制作や、「吹田市第4次総合計画シンポジウム」の開催等、市民周知活動に努めました。</p> <p>今後は職員研修等をとおして、職員周知を図るとともに、行政評価と連動した同計画の進捗管理を実施していきます。</p>

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 4	公共施設最適化の推進
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	高質で安全なまちづくりに資するため、計画的な利活用や維持管理、長寿命化などの検討を行い、公共施設最適化を推進します。
---------------------	--

活動目標
<p>平成28年度に策定した吹田市公共施設総合管理計画の個別施設計画として、一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、施設ごとに最適化の具体的な検討を進めます。</p> <p>検討にあたっては、吹田市公共施設最適化推進委員会や一般建築物最適化検討作業部会を開催するなど、全庁的な協議・調整を実施します。</p>

具体的な取組実績
<p>個々の施設の最適化の具体的な検討にあたり、関係部局と協議を行うとともに、吹田市公共施設最適化推進委員会を2回、その下部組織である一般建築物最適化検討作業部会を1回開催するなど、全庁的な協議・調整を実施しました。</p> <p>また、個別施設計画に活用する基礎資料として、公共施設に関する市民アンケートについて、市民（無作為抽出）2,000名に対し、郵送による調査を実施し、実施結果をとりまとめの上、公表しました。</p>

達成目標
<p>一般建築物を対象とした全施設の個別施設計画の平成32年度末の完成に向け、施設ごとに最適化の具体的な検討を進め、順次、個別施設計画を作成します。</p>

達成状況	達成度
<p>全庁的な協議・調整を行いながら、施設ごとに最適化の具体的な検討を進めるとともに、計画作成に活用する資料として、公共施設に関する市民アンケート実施結果を公表するなど、取組を実施しました。</p>	A
	達成

総合評価・総括
<p>平成28年度に策定した吹田市公共施設総合管理計画の個別施設計画として、一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、施設ごとに最適化の具体的な検討を進めています。平成30年度は計画作成に活用する資料として、公共施設に関する市民アンケート実施結果を公表するなど、取組を実施しました。</p> <p>今後は、一般建築物を対象とした全施設の個別施設計画の平成32年度末の完成に向け、全庁的な協議・調整を行いながら、順次、個別施設計画を作成します。</p>

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 5	学校・園施設整備の推進
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	老朽化対策に取り組むことで学校施設の長寿命化を図り、安心安全で快適な学校・園施設の整備を推進します。
---------------------	--

活動目標
老朽化の進む学校・園施設の長寿命化を図るため、年次計画に基づき、校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事を実施します。 また、日常的な修繕や、改修工事等を実施します。

具体的な取組実績
校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事を行い、その他に、屋上防水、消防設備改修等の学校・園施設の修繕、工事を行いました。 また、上記の業務を進めながら、地震・台風による災害復旧工事を計画的に実施しています。

達成目標
吹田市公共施設最適化の考え方を踏まえ、安心安全で快適な学校施設の計画的な整備を図ります。平成30年度は、小学校8校と中学校5校の校舎、及び小学校3校と中学校2校の屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、並びに小学校8校と中学校3校のトイレリニューアル工事について実施設計を行い、小学校8校と中学校4校の校舎、及び小学校3校と中学校2校の屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、並びに小学校5校と中学校5校のトイレリニューアル工事を実施します。

達成状況	達成度
校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事やトイレリニューアル工事の設計・工事を年次計画どおり実施し、他の工事においても、老朽化対策を施すことにより、施設の長寿命化を図ることができました。 また、学校施設の災害復旧工事について、緊急対応等を行いながら、順次計画的に実施しています。	A
	達成

総合評価・総括
施設の長寿命化を図るための老朽化対策として校舎・屋内運動場（体育館）の大規模改造工事、トイレリニューアル工事を、年次計画に基づき、予定通り実施しました。実施にあたりましては、国の補助金の確保に努め、補助金を活用しながら事業を実施しています。 今後も計画通りに実施し、施設の長寿命化や機能の維持・向上を図り、安心安全で快適な学校・園施設の整備に努めます。 なお、平成30年度においては、地震や台風等の災害が続きましたが、長寿命化について計画通り進めながら、ブロック塀の撤去や、災害復旧工事を計画的に進めています。

部(局)名	行政経営部
-------	-------

重点課題 6	吹田市第4期情報化推進計画の策定
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ICTを活用した市民サービスの向上や行政運営の効率化の取組を推進します。
---------------------	--------------------------------------

活動目標
情報化推進における内部的な課題や、今後重点的に取り組んでいくべき事業・施策を整理します。
市民懇談会を開催し、市民意見を踏まえた計画策定を行います。
本市を取り巻く外部環境(ICTの社会動向や国の施策動向)について調査研究を行います。

具体的な取組実績
各室課において、業務遂行上直面している様々なニーズ、重点的に取り組むべきと考える課題等を把握するために庁内アンケートを行いました。
情報化推進懇談会を2回開催し、第4期情報化推進計画素案や、吹田市に求めるICT施策について意見交換を行いました。
総務省派遣アドバイザーを招いてオープンデータに関する情報収集を行いました。 学術機関が主催する情報交換会に出席し、クラウドやGIS等の自治体動向を調査しました。

達成目標
第4期情報化推進計画を策定します。

達成状況	達成度
平成31年3月付で第4期情報化推進計画を策定しました。	A
	達成

総合評価・総括
<p>情報化推進懇談会、市民アンケートを行うことによって、市民からの幅広い意見を収集することができました。第4期情報化推進計画は、「市民のためのサービスデザイン」「市民を守るICT」「業務改善を支えるICT」の3つの基本方針の下に20の施策(アクションプラン)を設定しています。今後、これらの施策を計画的に実行していきます。</p>